



大分県の

歴史的農業水利施設Ⅱ

—— 美しい農業施設 〈農業用水路・ため池他〉 ——

CONTENTS

- 01 安政橋(飯屋橋)
- 02 小ヶ瀬井路
- 03 巖崎渠
- 04 呉崎干拓
- 05 鶴市神社と大井三堰
- 06 打上水路橋
- 07 戊申ため池
- 08 国東半島のため池群
- 09 昭和井路水路橋群
- 10 女子畑水路橋
- 11 原尻の滝と緒方井路
- 12 広瀬井路水路橋(拝田新洞水路橋)
- 13 飯田井路(北方水路隧道)
- 14 岩戸水路橋
- 15 無田口井路と白丹宿場町
- 16 上坪井路と用作公園
- 17 大井手(倉成村の大堰)
- 18 楠ため池の水神様
- 19 並石ダム(こっとな村桜まつり)
- 20 田染の荘(御田植祭り)
- 21 師田原ダム(しだはら湖面火まつり)
- 22 日出生ダム(安心院ワイン祭り)
- 23 緒方井路(小松明まつり)
- 24 神原井路(倉木(菜の花祭り))



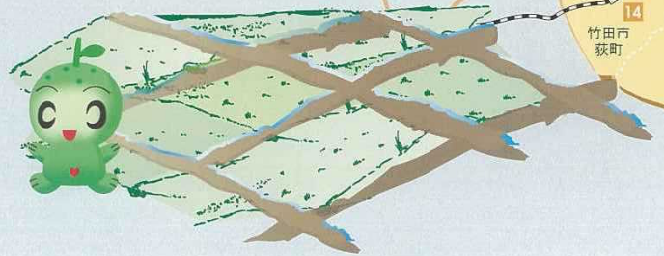
大分県には古より多くの農業水利施設が造られています。

その施設は、周囲の景観と調和した美しいものです。また、開発にともなう多くの伝説を持っています。幾多の困難を乗り越え造られた施設は、地域の人々を励ます力を持っています。

地域の祭りや結びつき、地域の風景に溶け込んだ農業水利施設を一冊の本に取りまとめました。現地への道順を示し、農業水利施設を見学できるようにしています。普段の農村風景の中に当然のごとくある農業水利施設の存在感を味わってください。

(平成20年4月1日現在)

施設位置図





【諸元】 水路延長：約20km

緒方井路は、2代藩主中川久盛公が開削を始め、4代久恒公の時に完成した。
緒方5千石を支える農業用水路である。
原尻の滝直上に、下井路取入口がある。



岡藩第2代中川久盛公、第3代久清公、第4代久恒公の正保・慶安・明暦・寛文の間(1643年～1671年)に緒方上下中路を開削し、緒方川の水を緒方平野に引き込んだ。

以来、歴代藩主は、井路の修理、改修を行ってきた。
その幹支線水路の総延長は、約20キロメートルであり、かんがい面積は約300haとなる。この豊かな水利と収穫の大きさから、「緒方5千石」と称される。



Deta	建設年	正保・慶安・明暦・寛文の間(1643年～1671年)
	所在地	豊後大野市緒方町原尻
	その他	岡藩の穀倉の1つで、緒方5000石といわれる肥沃な耕地。上井路と下井路の2本の水路がある。
	お問い合わせ	緒方井路土地改良区 tel 0974-42-3165



【諸元】 水路延長：17km

南一郎平が、明治元年に広瀬井路を完成させた。
宇佐平野の東部地域の幹線水路である。
昭和44年～昭和54年に国営地区として、平坦部幹線水路工事を行った。



Data	建設年	明治元年(1868年)
	所在地	宇佐市拝田新洞
	その他	広瀬井路(取入口:宇佐郡院内町大字広瀬)
	お問い合わせ	宇佐土地改良区 tel 0978-32-0829

宝暦元年(1751年)宇佐神宮庁は社費で、広瀬井路の開削工事を開始したが断念した。

2回目の企ては、文化11年(1814年)から文政4年(1822年)までの8年間にわたり、宇佐神領の富田久兵衛と日田丸屋の矢野興兵衛の2人が行ったが資金難によって不可能となった。

2回目の挫折後すぐ、日田郡代塩谷大四郎が3回目の井路工事を企てた。

天保6年(1835年)水路全部が通じ、通水を試みたところ各所施設が不十分であったため、崩落が生じた。そのうえに、塩屋代官の左遷もあり完成を見ずに終わった。

文久元年(1861年)、南一郎平が26歳の時に4回目の工事を広瀬久兵衛の支援を受けて開始した。

明治元年11月に通水式を挙げてきた。

この広瀬井路の遺構が国営かんがい排水事業の水路と合体して現代に残っている。





【諸元】 水路延長:全延長10,175m 隧道:750m

日田代官、塩谷大四郎正義が開削させた北方水路隧道。
隧道延長は、750mに及ぶ。



建設年	天保3年(1832年)
所在地	九重町大字田野
その他	組合員数:102人 隧道の寸法:幅1.0m 高さ:1.5m
お問い合わせ	九重町農林課 tel 0973-76-2111

日田代官、塩谷大四郎正義が文政11年(1828年)~天保3年(1832年)にかけて、5年9ヶ月の歳月を要し完成させた水路。以後田野村の橋爪増太、橋爪安彦氏2代が引き継いで、北方地域から野上地域に水を導いた。鳴子川から取水し、下流域の農地37haを潤すために築造された。

昭和29年に飯田土地改良区を設立し管理運営している。

塩谷代官記念碑

北方地区民は、日田代官、塩谷大四郎正義や先人達の遺徳を偲び、昭和16年10月に記念碑を建立した。





[諸元] 橋長:28m 橋幅:2.4m

大正時代末に完成した、サイホン水路橋。
大谷川からの水を柏原から荻に流している。



Deta	建設年	大正末
	所在地	竹田市荻町
	その他	サイホン全体:106m 径間:12m 環厚:55cm 型式:単アーチ コンクリート水路橋~岩戸サイホン:106m
	お問い合わせ	荻柏原土地改良区 tel 0974-68-2238

竹田市の荻と柏原は、岩戸川による谷で隔てられている。

この谷を、大正末期に荻柏原井路の岩戸水路橋(サイホン)にて渡し、荻と柏原の台地に農業用水が流れた。現在は、岩戸サイホン(コンクリート水路橋)が、その役目を担っている。

荻柏原井路は、大正12年1月起工し、大正15年11月通水式を行った。

岩戸橋は、柏原村の大庄屋、垣田角次郎が、年貢米を運ぶために架設したものである。

嘉永元年2月に着工、1年8ヶ月の歳月を要して竣工した。

岩戸橋は、竹田市指定有形文化財である。





相ヶ鶴井手家の石蔵
明治13年に建築されたもの。
稲葉ダム建設にともない光照寺の
横に移築された。

白丹宿場町を通る農業用水。 [諸元] 水路延長:5.5km 断面:0.4m×0.4m
~0.6m×0.6m

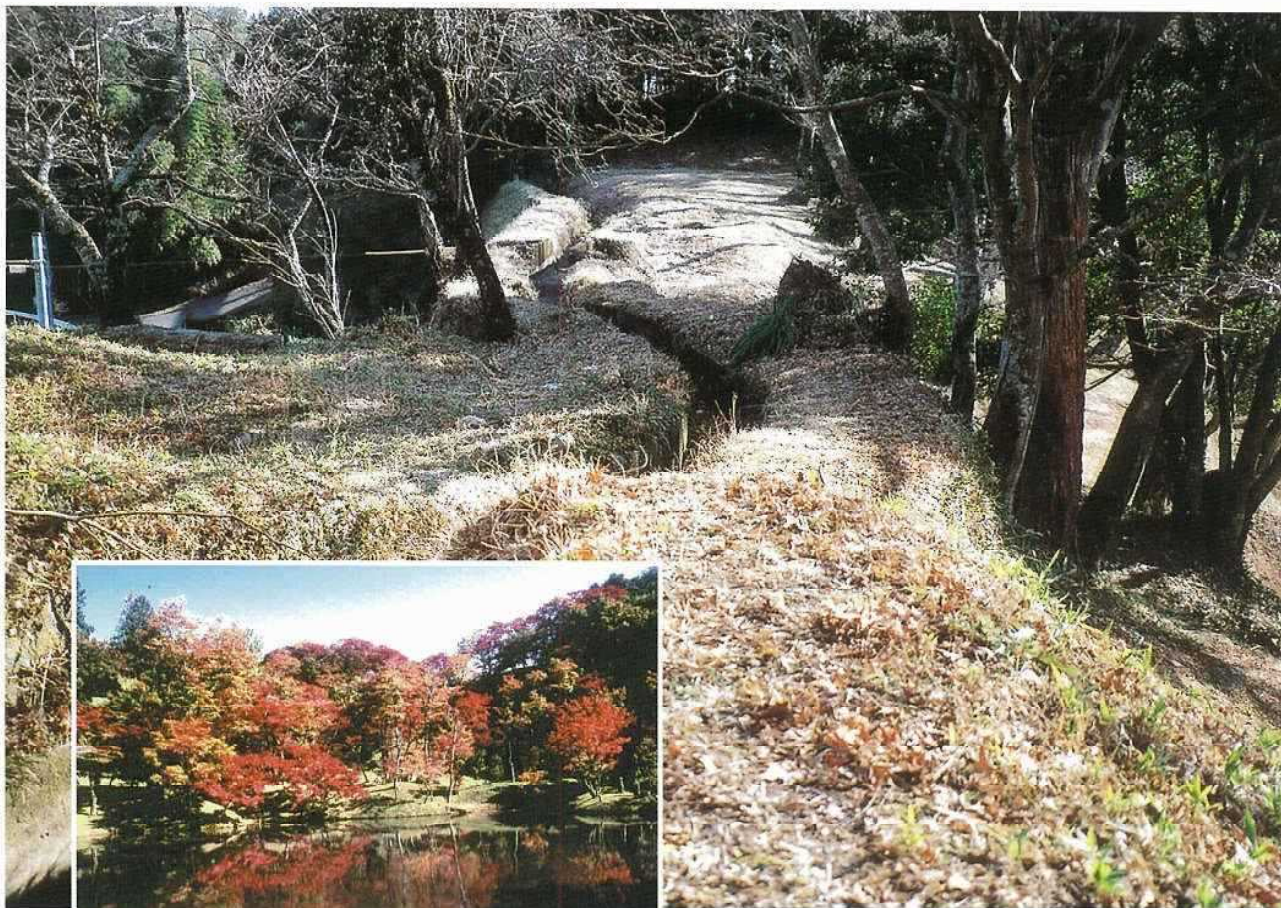
町道(宮原米賀線)に沿って無田口井路が流れている。
農業用水と生活用水が兼用となっている。



光照寺の周辺は、白丹地区でも白丹町といわれている。
肥後往還の宿場町である。
町道に沿って流れる無田口井路は、菓原集落の水田
16haを潤している。



Deta	建設年	江戸時代
	所在地	竹田市久住町白丹
	その他	光照寺門前橋 橋長:1.9m 橋幅:2.7m 拱矢:0.35m 径間:1.5m 単一アーチ
	お問い合わせ	竹田市久住総合支所建設課 tel 0974-76-1115



用作公園

【諸元】 水路延長:15km 受益面積:20ha

紅葉で有名な用作公園に注ぐ上坪井路。
古い歴史を持つ地域の農業用水路である。
今も上尾塚、坪泉地域約20haの水田を潤している。



元庄屋・斉藤正治翁は、朝地町南部の上尾塚、坪泉地区を灌漑する上坪井路建設の発起人である。

この地域は独立した3つの尾根から構成された標高300mの台地で、竹田市市街地より約80m高い位置にある。明治40年代より水路建設の実現に向け準備が進められ、幾多の苦難もを乗り越え大正11年7月ついに通水の日を迎えた。

現在、上坪井路の用水を非かんがい期にもみじの名所「用作公園」の池に入れ、池の浄化に使っている。このおかげで、11月のもみじ祭には、公園の池はきれいな水で満ちている。水の入替えの際には、若宮井路を排水路として使っている。

用作公園の水の浄化に農業用水路が、給水、排水の両面で役に立っている。



Data

建設年	大正11年7月
所在地	豊後大野市朝地町上尾塚
その他	
お問い合わせ	朝地町土地改良区(水土里ネットあさじ) TEL 0974-72-1152 FAX 0974-72-1156 E-mail: asa-kai@smile.ocn.ne.jp HP: http://www.12.ocn.ne.jp/~asaji/



【諸元】 堰長:84m 堰高:2.3m 受益面積:20ha

きのしたとしなが
木下俊長公により、貞享3年(1686年)に築造された。
田居の周辺をかんがいしている。



Data	建設年	貞享3年(1686年)
	所在地	杵築市山香町大字倉成字田居
	その他	
	お問い合わせ	杵築市農林水産課 tel 0978-62-3131

寛文3年(1663年)日出領の農民が木付領に8954人逃散した。

日出藩木下家の3代目、きのしたとしなが木下俊長公は、治世の安定を図るため殖産振興を図らねばならなかった。そのために、農業用水の開発を精力的に行った。

現在「大井手」と呼ばれている。「倉成村の大堰」は、貞享3年(1686年)に築造されたものである。





記念碑(左)、水神様(右)

【諸元】 貯水量:124,000 t 堤長:80m 堤高:10m

山香最大のため池である。
池の中に水神様と記念碑がある。



楠ため池は、「楠原大池」あるいは、「楠池」と呼ばれ、寛文12年(1672年)に築造された。

その後、寛政6年(1794年)、文化3年(1806年)、安政4年(1857年)に大改修を行った。

池の規模は、

東西3丁=109.09m×3≒327m

南北5丁=109.09m×5≒545m

満水の際は、周囲1里≒4km

立石領70haの水田の水源である。

記念碑の文の内容

『楠池之立石木下侯所領
天明文化年中修復
安政4年 丁巳
郡代野口助之丞
有深慮請願候増築再来早害無患
於茲其偉功為伝建碑為記念
明治35年12月吉日』



Data	建設年	寛文12年(1672年)
	所在地	杵築市山香町大字吉野渡字楠原1419
	その他	
	お問い合わせ	杵築市農林水産課 tel 0978-62-3131



美しい農業水

19

なめし 並石ダム

(こっとな村桜まつり)



ダムのそばに「里の駅・並石ダムグリーンランド」がある。周辺は桜の名所として知られており、桜まつりが開催される。



Detail	建設年	昭和45年～昭和49年(1970年～1974年)
	所在地	豊後高田市大字一畑
	お問い合わせ	豊後高田市役所農林振興課 tel 0978-22-3100
		並石土地改良区 tel 0978-24-1603

20

たしぼ 田染の荘

おたうえ (御田植祭り)



田染荘は、宇佐八幡宮の根本荘園の1つ。今に伝わる田園空間で、6月第2日曜日に行われる祭り。



Detail	建設年	平安時代～鎌倉時代
	所在地	豊後高田市
	その他	荘園領主募集中 ①荘園米などお届け物 ②催し物招待 ③芳名板に名前刻印 年会費30,000円/1口
	お問い合わせ	豊後高田市役所農林振興課 tel 0978-22-3100 荘園の里推進委員会 河野祐一郎 tel 0978-26-2293

21

しだはら 師田原ダム

こめん (しだはら湖面火まつり)



「師田原ダム」の水への感謝と五穀豊穰を祈り、人と自然の共存をテーマに毎年開催している。郷土芸能、花火等がある。8月中旬に開催される。



Detail	建設年	昭和45年～昭和55年(1970年～1980年)
	所在地	大野町
	その他	ダムの水で発電もしています。
	お問い合わせ	豊後大野市大野支所 tel 0974-34-2301 大野町土地改良区 tel 0974-34-2723

21

利 施 設 と 祭 り



22 日 出 生 ダ ム (安 心 院 ぶ ど う)

安心院ぶどうは、日出生ダムの水で栽培されている。



Deta	建設年	昭和40年度～昭和45年度
	所在地	宇佐市大字閣437
	お問い合わせ	宇佐市安心院支所 tel 0978-44-1111 駅館川土地改良区連合 tel 0978-32-3619

23 お が た い る 緒 方 井 路 (小 松 明 ま つ り)

水稻の害虫を、小松明の明かりでおびき寄せ、炎で駆除する農事をまつりとしたもの。自然への感謝と五穀豊穡の祈願を行う。例年、8月14日開催。



Deta	建設年	寛文2年～天和3年(1662年～1684年)
	所在地	緒方町大字原尻
	その他	同藩の穀倉の1つで、緒方5000石といわれる肥沃な耕地。上井路と下井路の2本の水路がある。
	お問い合わせ	豊後大野市緒方支所 tel 0974-42-2111 緒方井路土地改良区 tel 0974-42-3165

24 こ う ば る い る 倉 木 神 原 井 路 (菜 の 花 祭 り)

秋の豊作を願い、65戸の集落あげての、老若男女、犬、猫まで参加の菜の花祭りです。



Deta	建設年	明治29年(1896年)
	所在地	竹田市大字倉木
	その他	4月第2週に開催
	お問い合わせ	竹田市姥岳分館 tel 0974-67-2120

大分県農林水産部 農村整備計画課

tel: 代 097-536-1111

農林水産部	農村基盤整備課	tel:097-536-1111
東部振興局	農林基盤部	tel:0978-72-1215
東部振興局	日出水利耕地事務所	tel:0977-72-2018
中部振興局	農林基盤部	tel:097-506-5743
南部振興局	農林基盤部	tel:0972-22-1102
豊肥振興局	農林基盤部	tel:0974-63-1175
豊肥振興局	豊後大野事務所水利耕地部	tel:0974-22-0202
豊肥振興局	大野川上流開発事業事務所	tel:0974-68-2723
西部振興局	農林基盤部	tel:0973-23-2208
北部振興局	農林基盤部	tel:0979-32-0149